

2. えべつ未来戦略推進状況報告書の見方

戦略1 **ともにつくる協働のまちづくり**

○計画期間
戦略の期間を記載しています。

○戦略名
4つある戦略の名称を記載しています。

計画期間 平成 26 年度～ 平成 30 年度

主管部局 生活環境部 関係部局 企画政策部、教育部

めざす姿

- 市民や各種団体など多様な団体が、魅力ある協働のまちづくり
- 大学や大学生と連携した、江別市ならではのまちづくりが進ん

○部局

戦略を推進するうえで、主管となる部と関係する部を記載しています。

戦略を構成するプロジェクト事業費の推移

※ () は他戦略との重複分

名 称	決算額					予算額
	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H29年度
1 A 多様な主体が協働するまちづくり	5,643	3,751				
1 B 大学が活躍するまちづくり	2,920	3,581				
計	8,563	7,332				

○戦略プロジェクト事業費の推移

戦略を構成する事務事業の合計事業費を、プロジェクト毎に記載しています。
戦略を構成する事務事業のうち、他の戦略と重複するものについては、()で記載しています。

プロジェクト	初期値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標
成果指標 1 A-1 協働によるまちづくりが進んでいると思う市民割合 (単位: %)	23.1	21.7					35.0
成果指標 1 A-2 協働のまちづくりがある市民割合 (単位: %)	38.7	36.8					50.0

○成果指標

戦略プロジェクトの進み具合を数値で測ります。

○初期値ほか

初期値はH25年度を記載しています。H26年度以降の欄は、毎年度の実績値を記載していきます。

○目標

戦略の計画期間中に達成をめざす数値を記載しています。

◆成果指標 1 A-1 協働によるまちづくりが進んでいると思う市民割合 (単位: %)

初期値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標
23.1	21.7					35.0

◆成果指標 1 A-2 協働のまちづくりがある市民割合 (単位: %)

初期値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標
38.7	36.8					50.0

○H29年度の動向・改善案

戦略プロジェクトごとに、H29年度の成果動向(評価)と次年度に向けた改善案を記載しています。

■成果動向(評価)

協働のまちづくり活動支援事業において、市民活動団体が実施した事業に対して事業費の一部を補助したほか、自治基本条例のポイントを分かりやすく解説したリーフレットを大学生との協働により新たに作成・配布するなど、個別事業はほぼ予定どおり実施しましたが、成果指標は1 A-1・1 A-2ともに初期値からほぼ横ばいで推移しています。

■改善案(次年度へ向けた展開・課題・推進方向性)

協働のまちづくりを進めるため、協働についての意識啓発や市民活動団体に関する情報提供、まちづくりにおける市民参加の機会の充実、出前講座などを継続していきます。
また、自治会においては、担い手を育成するためのセミナーや女性の活動を支援するための意見交換会を活性化・充実させることにより、協働を担う人材の発掘・育成につながる事業を重点的に実施していきます。

◇推進プログラム1A-① 協働によるまちづくり

<課題>

- 自治基本条
- 市民参加に
- 協働に関す

○課題

プログラムを推進していく上での課題を記載しています。

<取組の概要>

- ・大学生との協働によるリーフレットを作成
- ・市民参加制度の周知
- ・小学生・中学生に向けて保護者への波及

○取組の概要

左欄の課題を解決するための取組の概要を記載しています。

併

事務事業	指 標	H28年度	H29年度	H30年度(予算)	備 考
協働を知ってもらふ啓発事業	啓発を受けた小学生	1,000 人	908 人	— 人	H30から指標を変更
	啓発を受けた中学生	1,059 人	1,039 人	— 人	
	協働の理解が進んだ学校の割合	—	—	90 %	
	事業費	1,018 千円	714 千円	710 千円	

○事務事業

推進プログラムを構成する事務事業を記載しています。

他の戦略と重複する事業については、重複先のコードを記載しています。

○各事務事業の指標と事業費

推進プログラムを構成する事務事業の成果指標と各年度の決算又は当初予算額を記載しています。

事業費のうち()は、他の戦略と重複するものです。同一の戦略内で事業が重複する場合は、1つのプログラム分のみに記載し、他は「—」としています。